

3月  
17日

# 政策提言する議会へ

## 地域共生社会を実現する実践的なビジョンを描け！



陳述人 大原 裕介 氏  
社会福祉法人ゆうゆう理事長  
北海道医療大学大学院修了。  
特定非営利活動法人当別町青少年活動センター  
ゆうゆう 24 を設立。2012 年から現職。

地域共生社会は社会全体で実現させるビジョンを示したものであり、地域包括ケアシステムはそれを実現するためのシステムである。それを深化させるために、当別町における実践的なグランドデザインを示す必要がある。

特に住み慣れた地域で暮らしを人生の最後まで続けていくことを、高齢者もとより、子ども・障がい児者・病気の人も対象領域を限定しない、医療・介護・住まい・生活支援を包括的に確保する施策展開は不可欠である。

その際、将来像を見据え、既存の資源を有効活用する観点も踏まえ、行政当局が中核となり、町内外を問わない有識者や研究者等による実践的かつ実効的なビジョンを描くプラットフォームを構築すべきである。

### ここがポイント 実践的な地域共生社会



当別町地域包括支援センターでは福祉総合相談を実施

**問** 実践的な地域共生社会を目指していく上で、まずやるべきことは何か。

**答** 行政や町内外の有識者等による実践的な会議での方針決定と、住民を議

論に巻き込んだ合意形成を踏まえて、町全体でビジョンを描いていこうという気運があってはじめて、地域包括ケアシステムが構築される。

### ここがポイント 多職種の連携が核になる

**問** 病院閉院により地域医療が話題となっている。当別町の地域医療に必要なことはなにか。

**答** 個人的な見解だが、地域医療における様々な職種によるネットワーク連携

構築がキーとなる。面的に医療・福祉資源を張り巡らせることが効果的。在宅での療養は60%の方が希望するが実際は14%だけ。非常に困難なので、在宅を支えるグランドデザインを描き出すことが非常に重要。

### ここがポイント 単なる労働力ではなく

**問** 福祉人材として外国人技能実習生を活用することをどう考えるか。

**答** ただの労働力として受け入れるのではなく、日本で何を学び、どう母国に戻るのかを含めたパートナーシップが必要。

# サタデー議会を開催

## 持続可能な町を維持する総合戦略の推進

これから市町村が生き残れるかどうか瀬戸際にある。町が生き残るためには、その町に住む必然性が大事。町に魅力がある、住んでいることで物心両面の豊かさを感じることでできる町であれば、人が増えていくことは十分に可能である。

少子化・人口減少対策としては、当別町の基幹産業である農業、観光をいかに伸ばしていくかが町の命運を握っている。農業におけるAIとIoTの活用、通信能力の強化（5G（次世代移動通信）、外国人労働力の活用などによる生産性向上も必要。またリカレント教育を含む北海道医療大学の活用と連携も我々の腕が試される。町内の田園風景という資産を活用しお金に変える周遊観光やメディアカトルリズムも。子育て支援では、自治体からアウトリーチする必要もある。



陳述人 和田 義明 氏

衆議院議員

早稲田大学商学部卒業。三菱商事株式会社勤務を歴て、2016年北海道5区から衆議院議員初当選。現在2期目。

ここがポイント

### ITを用いた人口減少対策



町内で使われているGPS搭載のトラクター

問

ICT情報通信技術、AI人工知能、ロボット化等をフル活用した人口減少対策が必要と考えるがいかがか。

答

人手不足をIoT、AIで補うということが鍵になる。ICT等々を使って農業を強くすることも必要。

ここがポイント

### 全体のストーリーが勝利の秘訣

問

当別、石狩、新篠津の道の駅や、景観、海産物、温泉などのそれぞれの地域資源を活かした周遊観光の可能性をどう考えるか。

答

点よりも面、施設だけよりも全体のストーリーをもって売り込むことによって、お互いの規模の限界を補いながら、より魅力的なものに見せていくということが勝利の秘訣であると思っている。

ここがポイント

### 好奇心とマメな活動

問

地域資源をビジネスにつなげるために地方自治体の役割として一番大切なことは何か。

答

色々な知的好奇心を旺盛にもち、自分の町で使えると思うものを体裁にとら

われず、どんなものでも地元にもってきて、自分の身の回りの人に話すとか情報を共有するとか、そういうマメな活動が大事。うまくいくんじゃないかとひたすら投げ続けることが、地域の活性化につながる。

## 産業厚生常任委員会（2月8日） 町内所管事務調査



春日団地を  
視察している様子



下川雪堆積場を  
視察している様子

## 正副委員長セミナー（2月9日）

当別町議会議長主催の正副委員長セミナーを開催し、石狩振興局副局長はじめ他2名を講師としてお招きし、「地方創生推進施策について」のお話をいただきました。



セミナーの様子

## 議会のうごき（平成30年2月～平成30年4月）

2月8日	議会運営委員会 産業厚生常任委員会町内所管事務調査	3月14日	第1回定例会
2月9日	正副委員長セミナー	3月15日	第1回定例会
2月11日	愛媛県宇和島市議会議長表敬訪問来庁	3月16日	予算審査特別委員会
2月13日	総務文教常任委員会	3月17日	サタデー議会（議員協議会）
2月20日	産業厚生常任委員会	3月19日	予算審査特別委員会
2月21日	議会広報特別委員会 会派代表者会議	3月22日	議会運営委員会 議員協議会 予算審査特別委員会 第1回定例会
2月27日	議会運営委員会		議員協議会 議会広報特別委員会
2月28日	議会広報特別委員会	3月30日	議会広報特別委員会
3月6日	議会運営委員会 議員協議会 第1回定例会	4月5日	議会広報特別委員会
3月7日	総務文教常任委員会	4月12日	議会広報特別委員会
3月8日	産業厚生常任委員会	4月13日	議会運営委員会
3月9日	第1回定例会 会派代表者会議 議会運営委員会 議会広報特別委員会	4月20日	議会広報特別委員会
3月12日	総務文教常任委員会	4月23日	議会報告会（ゆとろ）
3月13日	産業厚生常任委員会	4月24日	議会報告会（西当別コミセン）
		4月27日	総務文教常任委員会 産業厚生常任委員会

## 6月定例会のご案内

- 平成30年6月19日から予定しています。
- 一般質問、補正予算の審議などが行われる予定です。
- 本会議や各委員会も傍聴できますので、ぜひ、お越し下さい。
- ※日程は決まり次第、ホームページへ掲載します。

## 当別町議会インターネット中継

- 本会議のライブ中継と録画中継をインターネットにより配信しています。
- ※詳しくは、ホームページをご覧ください。



## 編集後記

2月1日発行の議会だよりより、「議会だよりモニター」がスタートし、今号は「代表質問」ページを改善することができました。手に取ってみたいくなる表紙、開いて読んでみたいくなる編集、周りの人に知らせたい内容など改善点は、まだまだたくさんあります。引き続き町民の皆様のご意見を参考に親しみやすい編集を心がけてまいります。

議会広報特別委員会 委員 鈴木岩夫

## ◇ご意見ご感想をお寄せください◇

【議会事務局】

〒061-0292 石狩郡当別町白樺町58番地9  
TEL：0133-23-3247 FAX：0133-23-4474  
E-mail:gikai@town.tobetsu.hokkaido.jp

## 議会広報特別委員会

委員長	古谷陽一
副委員長	佐藤立
委員	秋場信一
委員	鈴木岩夫
委員	五十嵐信子